

埼玉県×東京大学C o R E F 未来を拓く「学び」プロジェクト 平成29年度シンポジウム ～学び合いで未来を変える～

「未来を拓く『学び』プロジェクト」では、埼玉県教育委員会と東京大学C o R E Fが研究連携し、「知識構成型ジグソー法」の手法を用いた協調学習の授業実践を通じて、アクティブ・ラーニングの捉え直しを行っています。生徒の学び合い、主体的な学びによる生徒の変容で、埼玉の教育が大きく変化しています。

※ 協調学習及び知識構成型ジグソー法とは

他者との関わりを通して多様な考えを生かしながら、各自が自分なりの理解を深めていける学習が協調学習です。本プロジェクトで採用している「知識構成型ジグソー法」は、あるテーマについて、いくつかの部品になる資料をグループに分かれて担当し、それぞれ理解したことを交換し合い、統合して答えを導く方法です。これにより、一人一人が自分なりに納得し、次に学びたいことを自分で見つけながら、未来の学びにつなげることができると期待しています。

日時

平成30年

入場無料

要申込み

1月13日(土)

10:00～16:30

※プログラムについては裏面を御覧ください

会場



戸田市文化会館 ホール他

(埼玉県戸田市上戸田4丁目8番1号)

※JR埼京線(各駅停車)戸田駅[東口]から 徒歩7分

<http://www.todacity-culturehall.jp/>



申込み

「未来を拓く『学び』プロジェクト」シンポジウム申込みフォーム

<https://ecsweb.center.spec.ed.jp/coref/>

※「平成29年度 シンポジウム」申込みフォームからお申し込みください。

※ PC からの申込みは、インターネットエクスプローラー (IE) を御利用ください。



問合せ

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 学びの改革担当

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-6625 FAX 048-830-4959

Eメール a6760-26@pref.saitama.lg.jp

【主催】 埼玉県教育委員会
東京大学 C o R E F

※当日の様子を写真・ビデオにて撮影いたします。写真・動画は、埼玉県教育委員会及び東京大学 C o R E F が関与するWEBサイト等の広報手段、講演資料、書籍等に許諾なく用いられる場合があります。マスメディアによる取材に対しても、許諾なく提供することがあります。

【プログラム】（受付 9：30～10：00）

10：00～10：10	開会行事
10：10～11：20	パネルディスカッション1 「未来を拓く『学び』プロジェクトのこれまでとこれから～小中高大接続を見据えて～」 白水 始（東京大学 CoREF 教授） 大根田 頼尚（埼玉県教育局市町村支援部 義務教育指導課長） 羽田 邦弘（埼玉県教育局県立学校部 参事兼高校教育指導課長）
11：30～12：40	パネルディスカッション2 「主体的・対話的で深い学びのデザインと評価」 東京大学 CoREF・協調学習マイスター教員
12：40～13：50	諸連絡・昼食休憩・移動
13：50～16：30	教科部会等別ラウンドテーブル（RT I・II）※RT：ラウンドテーブル ○未来を拓く「学び」プロジェクトでの実践報告（教科別・主に高等学校） —国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術、書道、外国語 家庭、情報、農業、工業、商業、看護、福祉 ○新しい学びプロジェクトでの活動報告—中学校・小学校 ※RT Iのみ

※昼食は、近くのレストラン等で各自お取りください。会場内での飲食は御遠慮ください。（ホワイエは可）
※終了後、懇親会を予定しています。申込みの際に出欠を御明記ください。会費（3,000円）は、当日会場にて申し受けます。

【平成29年度 教科部会 研究テーマ】（RT I・II 13：50～16：30）※RT：ラウンドテーブル

RT I（13：50～15：00）

部会	H29年度研究テーマ
国語	学びの過程に焦点を当てた評価方法の研究
公民	教材の類型・分類化と未開発分野の新規教材の作成
数学	○協調学習の評価手法の検討と開発 ○ICTを活用した協調学習の教材開発と実践 ○内容・配置・型等の未開発分野における協調学習の教材開発と実践
美術	分野（題材）のバランスを考えた取り組みやすい課題における協調学習
書道	使いやすい教材の開発、ワークシートの研究
情報	○ICT機器の活用と他教科との連携 ○協調学習の指導計画と評価の検討 ○教材の再開発
工業	工業技術者として自ら考え判断し行動ができる生徒を育成する授業の研究
看護	事例をあげて協調学習を行う場合の研究
福祉	事例をあげて協調学習を行う場合の研究
新しい学びP	小・中学校における協調学習による授業づくりの報告・情報交換

RT II（15：20～16：30）

部会	H29年度研究テーマ
地歴	ICTの活用、単元内での協調学習の位置づけ、協調学習を用いた評価の方法
理科	○効果検証 ○年間計画における協調学習の位置づけ ○「学び合って課題解決する力」をつけるためには
保健体育	実技体育の授業モデルの作成と実践 課題と対策について
音楽	「音や音楽によるコミュニケーションと音楽科の特性に応じた協調学習」 ～より効果の高い表現活動へのアプローチ～
外国語	○評価を意識した授業の設計 ○外国語開発教材の類型・分類化
家庭	協調学習における効果検証等の検討 共通教材の開発
農業	教科「農業」における協調学習でのICT活用並びに評価方法の検討
商業	誰でもできる協調学習Ⅲ「評価手法の検討」と「ICTを活用した協調学習の検討・実践」